

広報

# もり 中部の森林

新シリーズ「秘蔵写真・今は昔の林業」  
「中部の保護林」スタート!

写真：コブシ（中部森林管理局広報）

## 特集

- ・中部森林管理局の事業概要～令和3年度の取組のポイント～
- ・令和2年度 第11回木材利用優良工事コンテスト
- ・令和2年度 森林・林業社会貢献活動感謝状贈呈

## シリーズ

- ・森林官からの便り、私の森語り、秘蔵写真・今は昔の林業、中部の保護林、国有林モニターのご紹介



林野庁中部森林管理局



2021/No.206

### 中部森林管理局の事業概要 ～令和3年度の取組のポイント～

#### 【企画調整課】

四月二十七日、令和3年度の中部森林管理局の取組について記者発表を行いました。ここでは、令和3年度の重要な取組や新たな試みについて、ご紹介します。

#### I 公益的機能の一層の発揮

◇多様な森林への誘導  
・主伐時の広葉樹の保残等により、針広混交林等の多様な森林づくりを推進します。



主伐時の広葉樹の保残（南木曾支署）

#### ◇安全・安心への貢献

・令和二年七月豪雨等により被災した森林等の復旧を推進します。  
・「防災・減災、国土強靱化のための五か年加速化対策」の取組として、森林の防災・保水機能を発揮させる間伐等の森林整備、治山施設整備等による流木・土石流・山腹崩壊防止対策を実施します。



流木対策の実施（流木捕捉工）（中信署）

いただけるよう、山地災害危険地区に係る情報を市町村等に順次提供します。

#### ◇二ホンジカ被害対策

・くくりワナの貸し出しによる捕獲の強化やICTを活用したワナ見回りの効率化、請負事業者と猟友会が連携した「ついで見回り・通報」「ついで捕獲」等により、地域ぐるみの二ホンジカ対策を推進します。  
・既存の作業道を活用し、獣の通り道（獣道）を遮断せずに残して設置した防護柵（ブロックディフェンス）と、くくりワナによる捕獲を組み合わせた対策を試行します。



ブロックディフェンス（南信署）

#### II 林業の成長産業化への貢献

◇徹底的なコスト縮減と生産性向上  
・生産性向上実現プログラム現地検討会の開催、優良事例のホームページへの掲載、特に優良な事例の「国有林間伐・再造林推進コンクール」への推薦等により、素材生産能力の高い事業者の育成に取り組みます。

・伐採・造林一貫作業システムや機械地拵（じこしら）等により、造林コストの縮減に取り組みます。  
・ドローン、航空レーザ、地上型レーザースキャナ、デジタルレーザークンパス、デジタルカメラ検知システムといった新たな機器を活用し、事業実施に必要な各種調査（収穫調査等）の効率化を推進します。



ドローンによる現地確認（岐阜署）



◇木材の安定供給と

ブランド材の需要拡大の推進

・国有林材の安定供給システムに取り組みとともに高年齢で高品質な人工林ヒノキを「高(高)東濃まるこく」木曽ひのき、「高(高)東濃ひのき」や「段戸SAN」として、また、民有林と連携して「信州プレミアムカラマツ」を積極的に供給します。



「高(高)木曽ひのき」(木曽署)

・公共建築物や神社仏閣等の建築に必要なとなる、特殊な寸法や品質の丸太のニーズを木材市場を通じて情報収集し、需要に応じた供給を行います。

・木質バイオマス燃料の円滑な供給や造林コストの低減等を目的として、枝葉や端材などD材の供給を推進します。

◇民有林との連携

・「森林経営管理制度」の推進に向け、現地検討会の開催等により市町村や林業経営体への森林・林業技術の普及に取り組みとともに、技術力向上のための当局の職員研修に、新たに市町村職員を受け入れます。



燃料用材の供給(南木曽支署)



職員研修(現場実習)

・また、国有林の一定区域において、公益的機能を確保しつつ、一定期

間・安定的に樹木を採取できる権利を地域で活躍する林業経営体に設定する「樹木採取権制度」の実施に取り組みます。

Ⅲ「国民の森林」としての管理経営

・「国有林おさんぽMAP」の活用等により、国有林を通じた地域の観光振興に取り組みます。  
・中部山岳など国有林が国立公園にもなっている地域において、環境省との連携強化に取り組み、優れた自然の保護と利用の両立を目指します。



GSS(グリーン・サポート・スタッフ)による登山道巡視(富山署)

Ⅳ 新型コロナウイルス感染症への対応

・事業の早期かつ安定的な発注により、地域経済及び雇用の下支えに努めます。

・木材の供給動向や価格の推移など地域の木材需給の動向等を民有林とも共有しつつ、「国有林材供給調整検討委員会」の意見を踏まえ、必要に応じて国有林からの木材供給調整等を弾力的に行い、木材価格の安定に貢献します。

〈参考〉令和3年度 主要事業量

		単位	富山県	長野県	岐阜県	愛知県	合計
保 育	新植、植付	ha	—	103	55	30	188
	下刈、つる切等	ha	—	666	246	133	1,045
	間伐	ha	48	1,869	865	73	2,855
収穫量	主伐	千㎡	0.8	197	160	34	392
	間伐	千㎡	14	374	176	20	584
	計	千㎡	15	571	336	54	976
製品生産量		千㎡	5	182	63	10	260
立木販売		千㎡	0.8	216	200	35	452
林道	新設	km	0.2	1.6	2.3	0.6	4.6
治山	溪間工	基	5	78	29	7	119
	山腹工	ha	2	34	16	9.5	62
	地すべり防止工	ha	—	96	—	—	96

※令和3年度 中部森林管理局の取組の詳細は、当局ホームページまたは、QRコードを読み込んでください。



令和 2 年度 第 11 回木材利用  
優良工事コンテスト

【資源活用課】

当局も参加している、長野県産材振興対策協議会では、県産土木用材の利用推進に向けた機運の醸成と優良事例の普及を目的として、毎年、公共事業関係機関の協力のもと、木材利用優良工事コンテストを実施しております。（令和元年度は、東日本台風による災害のため中止しております。）

令和 2 年度は、長野県と中部局が応募した工事を審査した結果、長野県知事賞、中部森林管理局長賞、長野県治山林道協会会長賞、長野県森林組合連合会会長賞、長野県木材協同組合連合会理事長賞、長野県産材振興対策協議会会長賞のそれぞれが決定しました。

なお、各賞の表彰式はコロナ禍における感染拡大防止の観点から行わず、木製の賞状を各受賞者にお送りさせていただきました。

今後も、公共工事への県産材利用の推進と積極的な木材利用拡大のため、優良事例の普及に取り組んでまいります。



中部森林管理局長賞  
長野県諏訪地域振興局 山腹工（丸太筋工）



長野県知事賞  
中信森林管理署 谷止工（平割材残存型枠工）

令和 2 年度 第 11 回木材利用優良工事コンテスト 受賞工事一覧

賞 区 分	応 募 組 織 等	
長野県知事賞	組 織	中信森林管理署
	工 法	谷止工(平割材残存型枠工)
	事業名	シシ沢復旧治山工事
中部森林管理局長賞	組 織	長野県諏訪地域振興局
	工 法	山腹工(丸太筋工)
	事業名	令和元年度 水源森林再生対策事業 台 1 - 1 号工事(溪間工)
長野県治山林道協会会長賞	組 織	木曾森林管理署
	工 法	山腹工(丸太筋工)
	事業名	センミ沢復旧治山工事
長野県森林組合連合会会長賞	組 織	北信森林管理署
	工 法	山腹工(丸太残存型枠、丸太筋工他)
	事業名	村松沢災害関連緊急治山工事
長野県 木材協同組合連合会理事長賞	組 織	木曾森林管理署 南木曾支署
	工 法	谷止工(平割材残存型枠工)
	事業名	額付本谷(ヌスビト沢)復旧治山工事
長野県 県産材振興対策協議会会長賞	組 織	木曾森林管理署
	工 法	鋼製スリット谷止工(平割材残存型枠工)
	事業名	濃ヶ池特定流域総合治山工事

令和二年度 森林・林業  
社会貢献活動感謝状贈呈

【総務課】

令和二年度に中部森林管理局管内において、災害時における防災ボランティア活動、国土緑化推進等を通じた森林づくり活動並びに地域の奉仕活動等の地域連携・社会貢献活動等に積極的に携わり、顕著な功績があった企業、団体等に森林管理局長感謝状及び森林管理署長感謝状を贈呈させていただきました。

なお、中部森林管理局における各部門の贈呈式は、新型コロナウイルス禍における感染拡大防止の観点から昨年度に引き続き中止とさせていただきますましたが、企業・団体の所在する近隣の署等において贈呈させていただきました。

今後も積極的な社会貢献活動等の取組にご理解とご協力をお願いします。



令和二年度 森林・林業社会貢献活動感謝状贈呈者

【中部森林管理局長感謝状】

区分	企業名	代表者名	住所	主な活動内容
防災協力活動部門	団体 一般社団法人 名古屋林業土木協会	会長 三尾 秀和	愛知県名古屋市	国有林防災ボランティア協定に基づく活動、被害情報の収集、二次災害の防止措置、草刈り側溝の清掃等
	名古屋 造林素材生産事業協会	会長 上田 榮勇	愛知県名古屋市	降雨、融雪等による林道被害未然防止活動及び7月豪雨による路面補修、風倒木等の除去作業
	株式会社 矢野土木	代表取締役 矢野 克也	岐阜県恵那市	上村恵那国有林の林道の崩土除去、現道補修等の林道整備
	株式会社 熊崎組	代表取締役 熊崎 靖之	岐阜県下呂市	「国有林防災ボランティア」協定に基づく防災活動・豪雨による被災状況の情報収集及び復旧活動
企業の部	有限会社 共和土木	代表取締役 堀 豊次	岐阜県恵那市	上村恵那国有林内林道の崩土除去・路面整正・横断溝清掃・横断溝設置
	田口土木 株式会社	代表取締役 田口 宗甫	岐阜県中津川市	加子母裏木曾国有林内 西沢林道現道補修
	森林づくり活動部門	団体 一般社団法人 名古屋林業土木協会	会長 三尾 秀和	愛知県名古屋市
企業の部	名古屋 造林素材生産事業協会	会長 上田 榮勇	愛知県名古屋市	自然休養林等の森林整備活動のほかニホンジカ対策への協力活動
	付知土建 株式会社	代表取締役 三尾 秀和	岐阜県中津川市	裏木曾国有林及び湯舟沢国有林において林道整備作業
	株式会社 佐々木工務店	代表取締役 佐々木 典博	岐阜県中津川市	中津恵那国有林内において、林道の草刈り・側溝清掃作業
地域連携活動部門	株式会社 熊崎組	代表取締役 熊崎 靖之	岐阜県下呂市	軽微な林道修繕作業及びニホンジカ被害対策「ついで見回り」への協力
	名古屋 造林素材生産事業協会	会長 上田 榮勇	愛知県名古屋市	各森林管理署管内で林道等の清掃、除草等の環境整備
	長野国有林森林整備協会	会長 由井 正隆	長野県長野市	戸隠山国有林ほか中信・東信署管内で国有林クリーン活動への協力
	名古屋林業土木協会 付知・中津川・坂下支部	付知支部長 三尾 秀和	岐阜県中津川市	東濃署管内の国有林林道沿線の標識、ガードレールの清掃、整備(造素協東濃支部協働作業)
	株式会社 長瀬土建	代表取締役 長瀬 雅彦	岐阜県高山市	講演会の実施、牛牧国有林内、牛牧谷林道の草刈作業
木曾土建工業 株式会社	代表取締役 青木 孝尚	長野県木祖村	塩沢国有林・菅国有林・御岳国有林の受注工事周辺の林道等整備	
企業の部	株式会社 熊崎組	代表取締役 熊崎 靖之	岐阜県下呂市	県道の清掃活動等

【森林管理署長感謝状】

区分	企業名	代表者名	住所	該当署
地域連携活動部門	団体 名古屋林業土木協会 久々野・高山支部	支部長 長瀬 雅彦	岐阜県高山市	飛騨森林管理署
	株式会社 羽田組	代表取締役 佐藤 公明	長野県長和町	東信森林管理署
	みどり産業 株式会社	代表取締役 ほら 和雄	長野県長野市	木曾森林管理署



高等官大礼服



旧帝室林野支局長室

**旧帝室林野支局長  
大礼服完成**

【木曾森林管理署】  
長野県木曾郡木曾町には「御料館」と呼ばれる古い洋館風の建物があります。

この建物は元々、中部森林管理局の前身である長野営林局の庁舎でしたが、さらに時代をさかのぼれば、戦前は「帝室林野局木曾支局」として使われていました。

明治時代中頃から終戦直後まで、木曾谷の森林の多くは御料林と呼ばれる皇室の財産として扱われており、これらを管理する機関として帝室林野局木曾支局が置かれていました（明治期には御料局とも呼ばれました）。この場所には明治三十六年より庁舎が建てられていましたが、昭和二年五月に木曾福島の大火で焼失し、現在も残っている建物は同年十二月に再建されたものです。

現在、建物は木曾町に管理されており、平成二十六年からは、御料林の歴史を後世に伝える森林文化を展示し、地域の生涯教育活動や子育て支援、観光交流等に活用されています。

ます。展示室の一部には、支局長室を復元した部屋があり、天井の漆喰の装飾やシャンデリアが復元され、昭和初期の洋風建築を再現しています。

本年一月に、木曾町教育委員会から「赤沢自然休養林の森林鉄道記念館」に展示されている、故太宰哲一郎氏（初代長野営林局長）より寄贈された高等官大礼服を再現して、旧支局長室に展示したい」との相談があり、当署としても、御料館に往時を偲ばせる大礼服が展示されることは森林・林業への関心を高める為に意義があることから全面的に協力させていただくこととしました。

再現にあたっては、木曾町職員が実物の大礼服の採寸や生地の確認等を行い、完成した大礼服が、旧支局長室の机の横に展示されると、当時の雰囲気が増えました。

木曾町では、早速、結婚式の前撮りを支局長室で行うとのことでした。今後、コロナ禍が収束した際には、内外から訪問される方々に、試着していただけるよう検討する予定です。

※大礼服・明治から昭和初頭における最上級の正装。



小径の広葉樹

【飛騨森林管理署】  
 三月九日、「小径（直径が小さい）広葉樹の新しい価値を創造する」ことを目的に、飛騨市主催による小径広葉樹高付加価値・活用推進プロジェクト成果発表が行われました。

飛騨市は、日本第二位の森林率を誇る、面積の九十三割が森林であり、そのうち七割をミズナラやブナを中心とする広葉樹が占めています。

一方、針葉樹と比較して樹形が複雑な広葉樹は、家具や什器等に活用できるまっすぐな部分が少ないため、利用可能な部分の割合が低く、曲がりがある部分や枝葉など、多くの部分が未だチップとして安価に流通しています。

こうした中、使えないと言われている小径広葉樹に、これまでにないアイデアやネットワーク等を活用

小径広葉樹高付加価値化・活用推進プロジェクト  
 成果報告を開催  
 ～国産小径広葉樹の新たな可能性～



チップ材を利用した断熱材

することで新しい価値を吹き込むため、このプロジェクトが結成されました。

報告会では、地元の製材所やインテリア業界、岐阜大学等が、それぞれのテーマごとに設けていたワーキンググループからの活動報告があり、中でも、通常、製材した板を自然乾燥するには、乾燥に約一年を要しますが、低温で人工乾燥する技術により四十六日間に短縮することが可能との報告がありました。

他にも、樹皮を使った器やチップ材を利用した断熱材などの成果が発表されました。

これらの成果から小径広葉樹の新たな価値と新たな可能性を感じることができました。





平林村長 (右) と西川署長 (左)

「あがりこサワラの森」へと名称を改め協定を締結しました。

あがりこ状のサワラが群生して見られる箇所は珍しく貴重であることから、これまでも森林教室や村が独自に制定した「山の日」制定記念ウォーク等のイベントの場として活用されてきました。

村としては協定更新

【中<sup>ちゅうしん</sup>信<sup>しん</sup>森林<sup>りん</sup>管理<sup>かり</sup>署<sup>しよ</sup>】

「あがりこサワラの森」  
協定更新

三月一日、松川村と当署は多様な活動の森「あがりこサワラの森」の協定を更新しました。

この協定は松川村の馬羅尾<sup>ばらお</sup>国有林に所在する※あがりこ状のサワラが群生する巨木群（七・二八<sup>あづみ</sup>）について、平成二十四年に「安曇野<sup>あづみ</sup>まつかわ馬羅尾高原郷土の森」として村と締結したのが始まりで、その後、平成三十年に現在の「あがりこサワラの森」へと名称を改め協定を締結しました。



※「あがりこ」とは、東北地方の方言で樹木を台切りした後から萌芽（ぼうが）し奇形な樹形となったものの総称。主に東北地方の多雪地域のブナ林などにみられる特異な樹形で、萌芽力が低いサワラであがりこ状の樹形になることは珍しい。

を機会に、地元の方にこの貴重な森の存在をもっと知ってもらうため、毎年行われる植樹祭の行事に合わせ見学の機会を設けるなど、更なる活用を検討してきたとのこと。また、当署に対しては「あがりこサワラの森」へのルートが豪雨被害により一部通行しにくい状況になっていくことから、安全なルート確保に向け協力いただきたいとの要望などもいただきました。

この更新を機会に今後も双方が連携し貴重な森の保全、遊歩道整備等に努めつつ、森林や林業について普及してまいります。

【愛<sup>あい</sup>知<sup>ち</sup>森林<sup>りん</sup>管理<sup>かり</sup>事務<sup>じよ</sup>所<sup>しよ</sup>】

「厳重警戒宣言下での森林作業道作設検討会を開催」

三月十八日、愛知県岡崎市<sup>おかざきし</sup>の閨<sup>くら</sup>が<sup>ら</sup>国有林において、当所の事業を行う請負事業者等と森林作業道作設検討会を開催しました。

検討会は、近年各地で作業道による丸太生産が進められる中で、より安全・安心な森林作業道の開設技術の向上を目的とし、現地の地形、地質等様々な条件に応じて、注意すべき点など基本的な考え方を示してほしいとの要望を受け開催したものです。

当日県内では、二度目の緊急事態宣言は解除されたものの、県独自の厳重警戒宣言が発令中のため、健康チェックシートの提出や受付での体温測定、マスク着用などの感染防止対策を徹底して実施しました。

検討会では、森林作業道において、路線の計画、土砂の安定、排水の処理などの方法について説明を行った後、意見交換を行いました。



森林作業道作設検討会の様子

参加者からは「各署の監督職員によつて指導が違い混乱することがある」、「機械の大型化で基本幅員をせめて三・五メートルにしてほしい」、「作業道上での枝葉の処理方法を示して欲しい」など多くの意見が出されました。

この検討会には、当所の監督職員全員が参加しており、請負事業者の現場技術者との意見交換を通じて、今後の事業が円滑に進められるよう双方のスキルアップが図られたものと考えます。

岐阜県森林研究所との  
今年度連携業務等を終了

【森林技術・支援センター】

三月二十六日、岐阜森林管理署管内の神割国有林に設定した岐阜県森林研究所のコンテナ苗の試験地において、獣害に伴う補植（苗木の植えなおし）作業の応援を実施し、今年度の同研究所との連携業務を全て終了しました。

令和二年度の試験地等の調査・整備については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、岐阜県下では緊急事態宣言に伴う在宅勤務や出張の自粛等を余儀なくされ、計画した業務が全般的に遅れることとなりました。



補植作業後の苗木測定状況



更新看板の整備状況

特に、岐阜県森林研究所との共同研究として取り組んでいる「ヒノキコンテナ苗による低コスト再造林のための植栽・初期保育技術の開発」等については、春期の植栽の応援や秋期の生長量調査等が遅れ気味であったことに加え、春期に植栽したコンテナ苗の野ウサギ被害が著しく、約七百本の補植作業が必要となったため、年度末に急遽実施することとなりました。なお、令和二年度の当センターの試験地等調査は八箇所を実施するとともに、試験地の整備はペンキ表示や番号標付け替え等を七箇所で行った。ほぼ予定した時期に終了することができました。現在は、表示内容の更新が必要な試験地等の看板取替えを順次進めており、来年度に向け看板製作等を行っているところです。

「東濃ヒノキ製消毒スタンド」  
を寄贈される

【東濃森林管理署】

三月二十三日、当署では、なかつがわしつけちよう「中津川市付知町まちづくり協議会」（はやかわまさこ）から「東濃ヒノキ製消毒スタンド」の寄贈を受け、同日玄関ロビーに設置しました。当署は、平成十三年に管轄区域が拡大して以来、令和三年で二十年の節目を迎えることとなりました。

今回、協議会から、二十年という節目の年、また、コロナ禍の中で、地域住民を始め森林管理署への来訪者の感染防止はもとより、これから来訪者に地域の産業である「東濃ヒノキ」をPRするため、「東濃ヒノキ製消毒スタンド」を寄贈された。



寄贈された「東濃ヒノキ製消毒スタンド」

濃ヒノキ製消毒スタンド」を玄関ホールに設置していただきたい」との申し入れいただいたものです。玄関ロビーに設置された消毒スタンド頭部には疫病退散のお守り社「※アマビエ」も祀られており、職員や来訪者は入庁時の手指消毒の後、「アマビエ」に手をかざしパワーをいただいています。

当署では、協議会のご厚意に因應するためにも、感染対策を徹底しつつ、「東濃ヒノキ」のPRに努めてまいります。



※アマビエとは、江戸時代、肥後（ひご）の国（熊本県）の海に出現し「疫病が流行したら私の姿を描き写した絵を人々に見せよ」と告げ、海へ帰ったとされる半人半魚の妖怪。

シリーズ

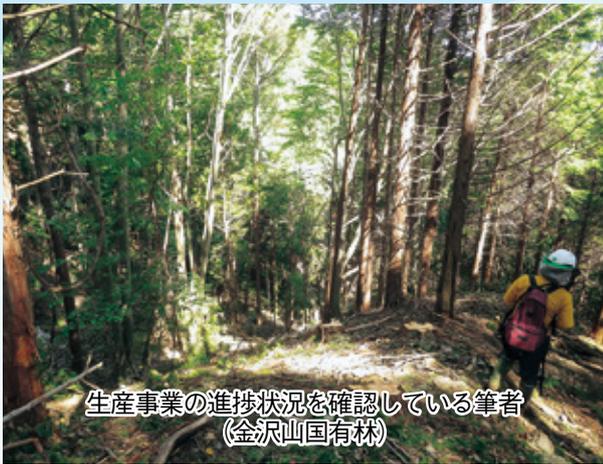
森林官からの便り

国有林の現場の最前線で、働く森林官の仕事や、管轄する地域の特徴などを紹介します。

【南信森林管理署 諏訪南森林事務所】  
森林官 奥山綾菜

諏訪南森林事務所は、長野県茅野市に所在し、長野県茅野市の里山である金沢山国有林と八ヶ岳連峰の西側の地域にある茅野市の冷山国有林、東嶽国有林、鷹栖場国有林、青岨国有林、富士見町の西嶽国有林、編笠山国有林と富士見町にある官行造林地を管理しています。

金沢山国有林は、ヒノキ・カラマ



生産事業の進捗状況を確認している筆者  
(金沢山国有林)



横岳・赤岳・阿蘇陀岳

ツ人工林やアカマツを中心に構成されており、地域住民の方は、昔から山菜やきのこ、水資源等山からの恩恵を受けています。また、武田信玄が軍用資金を得るために金を採掘してきた「金鶏金山」という鉱山跡があります。八ヶ岳連峰にある国有林は、赤岳を主峰に北部の蓼科山から南部の編笠山まで標高二、〇〇〇メートル以上の山峰が連なっており、亜高山帯ではカラマツや広葉樹、コメツガ等針葉樹

天然林で構成され、高山帯では夏になると一、一〇〇種類を超える高山植物が花を咲かせます。また、夏沢峠を境に、なだらかな地形でコケに覆われた針葉樹の原生林が多い北八ヶ岳、鋭い



金沢山国有林から冬の八ヶ岳遠望

森林官となつて二年目ですが、業務も幅広く多様であり、状況によって対応することが変化するため、まだまだ学ぶべきことは多いと実感しています。これから八ヶ岳の貴重な自然を守ることも地域振興のため、国有林に係わる人たちと協

力していきながら業務に取り組んでいきます。

■未来の担い手へのメッセージ  
森林は水源かん養機能や災害防止機能など多様な機能を持っており、私たちの生活とつながっています。現在、日本の森林・林業は、人工林の人手不足等問題が多く、森林の持つ機能の発揮が困難な状況になっています。解決するためには、やるべきことがたくさんあり、長い目で見る必要がありますが、森林というかけがえのない財産を守るために、今、私たちができることを一緒に考えながら、森林・林業の仕事に取り組んでみませんか。



硫黄岳山頂にて

シリーズ

# 「私の森林語り」

せりかた

森林・林業との関わりの中で、様々な課題に挑戦されている方の取組を紹介します。



株式会社アペックス  
企画本部 環境部 部長  
たなべ  
田邊 めぐみ

## ■自己紹介

カメラで街や風景、そしてたまに猫を撮っています。コロナ禍でなかなか思うように撮れない日々が続きますが、時折、公園のベンチで、目を閉じて葉擦れの音を聞くと心が洗われ、自然の偉大さを感じます。桜の木でできたカスタネットを大切にしています。

## ■活動内容

アペックスは、カップ式自動販売機を主体に全国で展開している専業オペレーターです。「自動販



間伐材を使った紙カップ

売機」というと、どこか無機質な工業的なイメージを抱かれる方も多いと思いますが、実は、地元の水を使い、日本の森林から伐り出されたチップを原料とした原紙を紙カップに使ったり、コーヒード

という農産物を原料にコーヒードを抽出したり、自然の恩恵なしでは成り立たないものなのです。そんな自覚から、アペックスでは、八年前に、当時、自動販売機オペレーター業界初の取り組みとして、「間伐材を含む国産材100%」にこだわり、間伐材紙カップの使用を開始しました。

今では、お客様の事情など特殊なケースを除くと、間伐材紙カップの使用率は100%です。脱炭素化社会構築には、日本の森林の手入れが不可欠ですが、微力ながら、貢献できればと考えています。

また、地域社会との関わりの中で、横浜自然観察の森でバードウォッチングや外来樹木の除伐を



除伐した木を運んでいる様子

したり、公益財団法人日本野鳥の会の「ヒナを拾わないで」キャンペーンに協賛したり、陸と海の豊かさを応援した取り組みにも携わっています。



バードウォッチングで撮影したモズ

## ■今後の展望(メッセージ)

地産材でラッピングしたカップ式自動販売機を「自動販売木®」と名付けて展開中です。全国にこの「植林」を広げていけたら、と考えています。

## ○連絡先

株式会社アペックス 東京本社

〒102-0007 四

東京都千代田区九段南二丁目三番十四号

靖国九段南ビル六階

☎ 代表 03-3333-3341 六五〇一

ホームページ

<https://www.apex-co.co.jp/>



新シリーズ

秘蔵写真

# 今は昔の林業

第 1 回

中部森林管理局技術普及課

井上 日呂登

今は昔、山村に暮らす人々とその生業としての林業を当局秘蔵の写真とともにご紹介します。

## 製炭

日本の一般家庭での炊事にガスが普及したのは、昭和三十年前後のことだと言われています。それ以前の時代は薪・炭の利用が多かった訳ですが、その供給元は森林です。良くも悪くも、森林と人との関係が今よりもずっと近かったとも言えます。



「製炭作業風景」  
昭和二十二年頃、岩村田宮林署  
(現在の東信森林管理署管内)

国有林も地元の人により「薪炭共用林野」として薪の採取場として利用されることもありましたが(制度としては現在も存在します)。

また、戦前から官営の製炭事業も行われていました。戦中戦後の家庭用燃料、あるいはガソリンの代用燃料として、その時代の要請に応えていました。



「製炭小屋」  
昭和二十九年、小坂宮林署  
(現在の岐皇森林管理署管内)



「人背運搬」  
年代不明、伊那宮林署  
(現在の南信森林管理署管内)

炭俵は一俵四貫目、約十五キログラムほどで、人が何個も背負って運んだり、馬で運んだりしていました。また、森林鉄道やトラック、索道で運び出す風景も写真に残されています。時代の変化もあり、昭和三十年代末頃に製炭事業は中止されました。

ここで紹介している写真は、当局サイト「モノクロ森林紀行」で紹介しております。これは、カラー写真のない時代へ時を超えて！むかしの写真を紹介するサイトです。  
当サイトへは、QRコードを読み込んでください。



# 原生的な森林植生の宝庫

～長野と新潟にまたがる秘境の自然～

さぶりゆうやま  
佐武流山周辺 森林生態系保護地域

## 設定目的

長野県と新潟県の県境に位置し、日本海側から太平洋側の森林植生への推移帯にあたる原生的な森林生態系を形成しています。

その生態系を保護・管理し、自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源の保存、森林施業・管理技術の発展、学術研究等に役立てるため、保護林として設定しています。

## 地況・林況

三国山脈（佐武流山、岩菅山、赤石山等）に囲まれ、中津川上流及び清津川源流部を有し、全般的に急峻な地形となっています。

地域内の標高差が約一五〇〇メートルあるため、植物相が豊富です。

一五〇〇メートル～一六〇〇メートルの山地帯では、ブナ・チシマザサ群落为主体となっています。亜高山帯には、オオシラビソを主体にクロベ、コマツガ、トウヒの混交する群落やダケカンバ群落等が分布しています。二二〇〇メートル以上の地域には、ハイマツ群落、高山性礫地群落、風衝ササヒゲノガリヤス群落等が分布しています。

新シリーズ

中部の保護林(第1回)

岩菅山への登山道から  
岩菅山を概観

所在地  
長野県山ノ内町、栄村



※自然保護のため、詳細な位置情報は掲載しておりません。

ベニヒカゲ

ゼンテイカ群落  
(通称ニッコウキスゲ)

国有林野には、世界自然遺産を始めとする原生的な森林生態系を有する森林や、希少な野生生物の生育・生息の場となっている森林が多く残されています。

国有林野事業では、1915年（大正4年）以降、こうした貴重な森林を「保護林」として設定し、森林や野生生物等の状況変化に関する定期的なモニタリング調査を実施して、森林の厳格な保護・管理を行っています。

お問い合わせ先：計画保全部計画課 ダイアルイン：026-236-2612



※詳細は、QRコードを読み込んでください。



中部森林管理局では、森林の公益的機能の発揮や林業の成長産業化に向けて様々な取組を行っています。その中から民有林行政、林業や森林土木事業に携わる皆様に、参考にしていただけたら幸いです。

また、当局ホームページにおいてもこれらの事例を紹介しています。  
詳細は、QRコードを読み込んでください。



## 航空レーザ計測データの活用と共有

### 1. ねらい

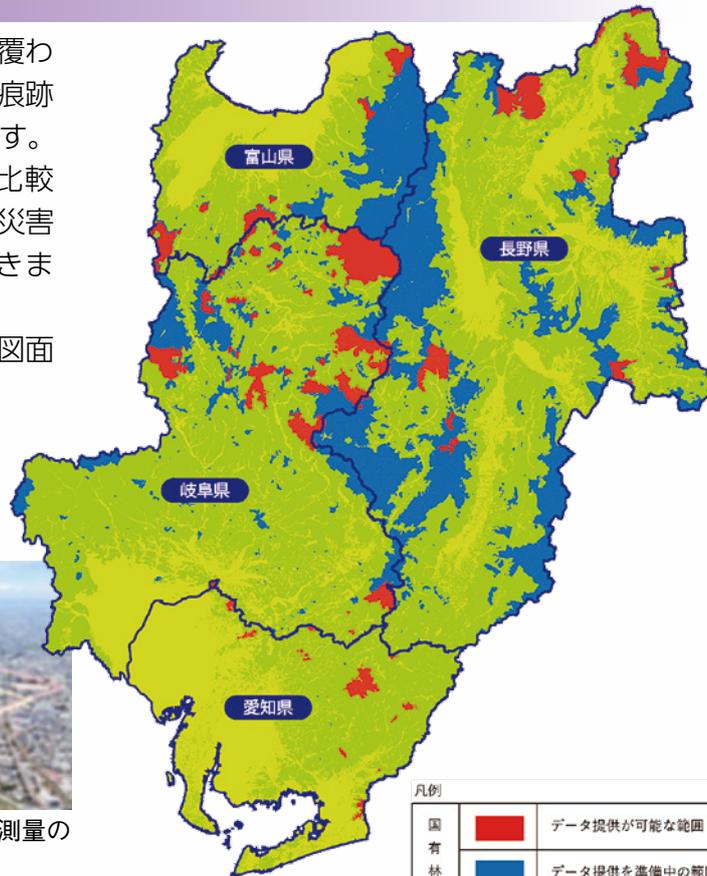
防災計画や森林計画の策定作業を効率化するため、地表面の形状を三次元的に計測したデータを活用いただけます。

### 2. 概要

近年、記録的な降雨などにより全国各地で激甚な山地災害が発生しています。このため、中部森林管理局では、国土強靱化に向けた取組の一環として、所管する国有林野等の航空レーザ計測等を概ね完了し、崩壊地や崩壊危険地の把握・分析を進めています。この計測データは、公共測量成果として国土地理院へ順次提出しています。

### 3. 成果

- 山地災害の前兆地形（植生に覆われた地表の亀裂や地すべりの痕跡など）を発見することができます。
- 災害前後の地表面の形状を比較（差分解析）することにより、災害規模等を把握することができます。
- 現地の測量調査無しで縦横断面図面等を作成することができます。



航空レーザ計測のイメージ：公共測量の手引（国土地理院）より

R3.4.1 現在

### 4. 問い合わせ先

企画調整課・治山課 電話 026-236-2515

シリーズ  
お役に立ちます  
国有林

民有林行政、林業や森林土木事業に携わる皆様へ



### 国有林モニターのご紹介



やなぎさわ じゅんいち  
柳 沢 純 一  
(長野県)

◇自己PR：(趣味や特技など)  
野山散策、登山、写真、森林インストラクター

◇国有林モニターに  
応募いただいた理由  
森林に興味があり関わっている中で、国有林モニター募集を知り、新しい知識を知る機会と思い応募しました。

◇国有林に期待すること  
誰でもが、気軽に安全に楽しめる身近な森林であってほしい。



### 事務所移転のお知らせ

「森林技術・支援センター」の庁舎新築工事にとまない、当面の間、次の住所に移転して業務を行います。当センターをご利用の皆様にはご不便をおかけしますが、何卒ご理解の程よろしくお願い申し上げます。

#### ・移転先住所

岐阜県下呂市萩原町萩原一六三六

今庄ビル二階

・電話 ○五七六一二五―三〇三三

・アクセス

JR高山本線飛騨萩原駅から徒歩十五分

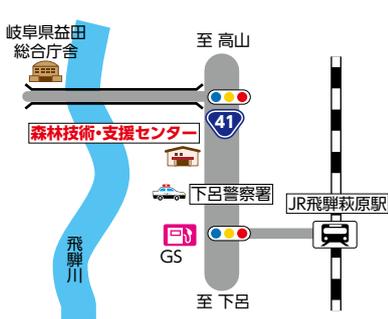
JR高山本線下呂駅から車で十五分  
中央道中津川ICから八十五分

東海北陸自動車道関ICから九十分

#### ・移転期間

令和三年五月二十日(木)～

令和四年十二月(予定)



詳細については、森林技術・支援センターホームページ及び右のQRコードを読み込んでください。



### 新型コロナウイルスの感染リスクを下げるために全ての場面で引き続き守ってほしいこと

- マスク着用や三密(密閉・密集・密接)の回避を徹底しましょう。
- 換気を良くしましょう(室内の場合)。
- 集まりは、少人数・短時間を心掛けましょう。
- 大声をたえず会話ができるだけ静かにしましょう。
- 共用施設の清掃・消毒、手洗い・アルコール消毒を徹底しましょう。

改めて、三密の回避、手洗い、マスク着用、換気、共用施設の消毒などの徹底をよろしくお願ひします。  
詳しくは、次のQRコードを読み込んでください。

#### ◇感染リスクが高まる「5つの場面」(内閣官房)

#### ◇新型コロナウィルスについて(農林水産省)



「モノクロ森林紀行」お披露目！  
昨年八月にオープンしたデジタル森林紀行の裏サイトとして、「広報主任官お勧め」のサイトのQRコードの一つとして紹介してきましたが、「秘蔵写真・今は昔の林業」の連載と合わせて表サイトへデビュー致します。  
カラー写真のない時代へ時を超えて！むかしの写真を紹介しております。ぜひ、お立ち寄りください。



大正時代の御杣始祭り(推定)(ガラス乾板写真)

### 編集長だより

(中部の森林へのご意見・ご要望等の投稿は、[migoro@maff.go.jp](mailto:migoro@maff.go.jp)まで電子メールでお送りください。)

ここ信州では、例年よりも早く、春の山菜が市場に出回っております。私も職業柄、シーズン初めは、コゴミ(和名：クサンテツ)を採りに山へ出かけます(といっても、地元では、田んぼの脇に雑草のように生えています)。この採りたてのコゴミを茹でて、2~3倍のそばつゆとごま油を1:1でドレッシングを作り、茹でたコゴミと和えます。最後に小鉢にもって、その上に鰹節を適量振りかけて完成!

さらに、揚げたてのコゴミの天ぷらに、塩を振り、塩が天ぷらの熱で溶け始めたら、本日のお待ちかねのビールと一緒にアツアツの内に食します。…うま~い!うま~い!うま~い!最高です。ぜひ、お試しあれ!

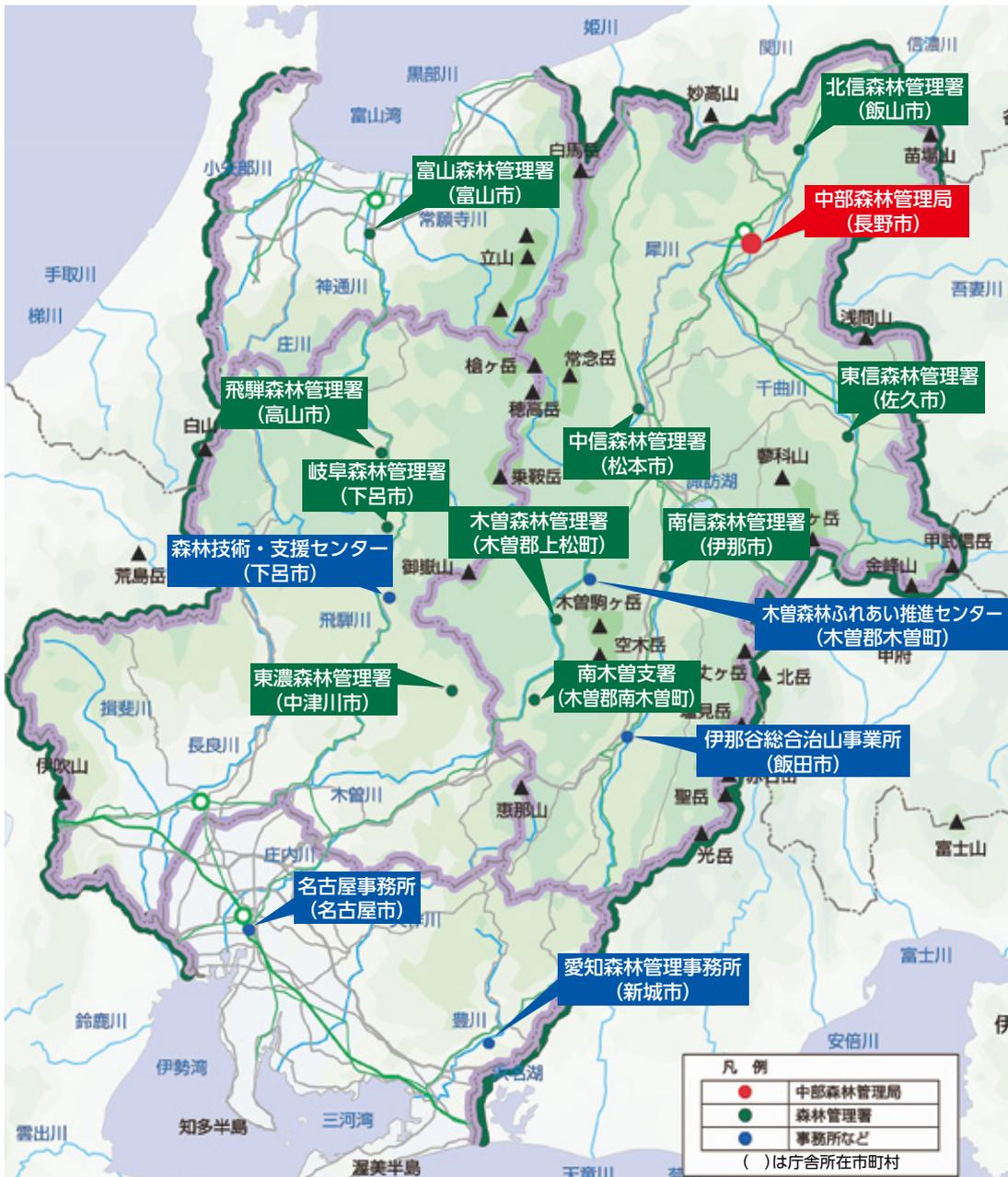
今号は、新シリーズ「秘蔵写真・今は昔の林業」、「中部の保護林」を加え、さらにバージョンアップまた、5月4日は、みどりの日です。心と目の保養にデジ森テーマ「緑」画像を掲載しました。ぜひ、いつでもお気軽に自宅や森林や自然の風景を楽しむことができる「デジ森(もり)」で、美しい風景をご覧ください。



デジ森への入場ゲートは、左のQRコードを読み込んでください。



43. [段戸国有林]



中部森林管理局のホームページ等へのアクセスは、以下のQRコードを読み込んでください。



中部森林管理局ホームページ



広報「中部の森林」



用語の解説  
本誌文中に掲載している主な専門用語・業界用語を解説。

名古屋事務所	〒456-8620	愛知県名古屋市中区熱田区熱田西町1-20	TEL 050-3160-6660	FAX 052-683-9269
富山森林管理署	〒939-8214	富山県富山市黒崎字塚田割591-2	TEL 050-3160-6080	FAX 076-424-4934
北信森林管理署	〒389-2253	長野県飯山市大字飯山1090-1	TEL 050-3160-6045	FAX 0269-62-4144
中信森林管理署	〒390-0852	長野県松本市島立1256-1	TEL 050-3160-6050	FAX 0263-47-4754
東信森林管理署	〒384-0301	長野県佐久市白田1822	TEL 050-3160-6055	FAX 0267-82-6959
南信森林管理署	〒396-0023	長野県伊那市山寺1499-1	TEL 050-3160-6060	FAX 0265-72-7774
木曽森林管理署	〒399-5604	長野県木曽郡上松町正島町1-4-1	TEL 050-3160-6065	FAX 0264-52-2582
南木曽支署	〒399-5301	長野県木曽郡南木曽町読書3650-2	TEL 050-3160-6070	FAX 0264-57-2686
飛騨森林管理署	〒506-0031	岐阜県高山市西之一色町3丁目747-3	TEL 050-3160-6085	FAX 0577-34-8932
岐阜森林管理署	〒509-3106	岐阜県下呂市小坂町大島1643-2	TEL 050-3160-6090	FAX 0576-62-2503
東濃森林管理署	〒508-0351	岐阜県中津川市付知町8577-4	TEL 050-3160-5675	FAX 0573-82-2109
愛知森林管理事務所	〒441-1331	愛知県新城市庭野字東萩野49-2	TEL 0536-22-1101	FAX 0536-23-2254
森林技術・支援センター	〒509-2202	岐阜県下呂市森876-1	TEL 050-3160-6095	FAX 0576-25-2420
木曽森林ふれあい推進センター	〒397-0001	長野県木曽郡木曽町福島1250-7	TEL 0264-22-2122	FAX 0264-21-3151
伊那谷総合治山事業所	〒395-0001	長野県飯田市座光寺5152-1	TEL 050-3160-6075	FAX 0265-22-0149

発行：林野庁 中部森林管理局  
編集：総務課 広報  
〒380-8575 長野県長野市栗田 715-5  
電話：026-236-2531  
FAX：026-236-2733  
<http://rinya.maff.go.jp/chubu/>

メールマガジンに登録いただくと、広報「中部の森林」を発行日と同時にデジタル版を毎月配信します。  
(毎月10日発行※編集の都合で、発行日が遅れることもあります)  
登録サイト <https://mailmag.maff.go.jp/m/entry>  
または、右のQRコードを読み込んでください。

